

中学生・高校生対象

原稿募集のお知らせ

PHP作文甲子園

に出場しませんか?

締切日
2017年
9月1日(金)
必着

PHP作文甲子園 開会の言葉

昨2016年、PHP研究所は、創設70周年を迎えました。
その70周年の記念事業として行なわれた「PHP大賞〈中学生・高校生部門〉」では、
全国からたくさんの中学生・高校生にご応募をいただき、その数は1600作品にも及びました。

心あたたまる作品が数多く、各方面で大反響がありました。
そこで、このたび、創刊70周年を迎えた月刊誌『PHP』では、
とらわれない素直な心で物事を判断し、豊かな向上心をもつ若者を育むことをめざし、
中学生・高校生を対象とした「PHP作文甲子園」を開催し、
多くの思いを集めたくおもいます。

【募集テーマ】

『心に残るあの人の言葉』について、思いをこめた800字を送ってください

月刊『PHP』とは **読むと前向きになれる人生の応援誌**です。

昨日よりも今日、今日より明日の人生が楽しく、充実して過ごせるように、
様々な角度から身近な事例をもとに「生き方」について考えあうPHP研究所
の機関誌です。

感謝と思いやりをもって生きるための心の糧として、性別、年齢問わず
幅広い層の方々にご愛読いただいています。



Topics

学校をあげての応募も
多数いただきました。

岡山学芸館高等学校(岡山市東区)からは最優秀賞
受賞者が、浜松開誠館高等学校(浜松市中区)から
は審査員特別賞受賞者が出ています。上記2校
には月刊『PHP』編集長が表敬訪問し、受賞者の
生徒に表彰状と賞品を手交しました。
この時の模様は、山陽新聞(2016年10月22日付)と
中日新聞(2016年11月5日付)にそれぞれ掲載され、
地元を中心に話題になりました。

「PHP作文甲子園」特設ページ

<http://www.php.co.jp/phptaisho/>



募集要項は裏面をご覧ください ➡

募集要項

募集テーマ

【募集テーマ】心に残るあの人の言葉

あなたに希望や夢を与えてくれた出会いはありましたか。その人は、どんな言葉をかけてくれましたか。そしてあなたはどう感じましたか。そんな心に残る言葉を、具体的な体験をもとにおまとめください。

【文字数】800字(400字詰原稿用紙×2枚)

賞

「PHP作文甲子園最優秀賞」1編 … 3万円分の図書カード

「優秀賞」11編 … 1万円分の図書カード

応募方法

次のいずれかの方法で、ご応募ください。

【WEB】WEB投稿応募フォームに必要事項をご入力の上、送信ボタンを押してください。

「PHP作文甲子園」特設ページ <http://www.php.co.jp/phptaisho/>



【郵送】作品に、郵便番号・住所・氏名(フリガナ 実名にて掲載)・年齢・学年と学校名・電話番号を明記した表紙を付けて、お送りください。

〈送り先〉〒601-8411 京都市南区西九条北ノ内町11

株式会社PHP研究所 PHP編集部 「PHP作文甲子園」係

※作品は未発表の自作品に限ります。

重複投稿が発覚した場合には、入選後でも入選を取り消すことがあります。

締切日

2017年 9月 1日(金)必着

※郵便の場合は当日消印有効

審査員

志賀内泰弘(作家)

浅田宗一郎(住職・児童文学作家)

清水 卓智(株式会社PHP研究所社長)

大谷 泰志(月刊誌『PHP』編集長)

受賞発表

月刊誌『PHP』2018年1月号(2017年12月9日発売)誌面上

弊社ホームページには、2017年11月上旬に掲載

入選作品全12編は『PHP』2018年1月号より順次掲載

お問い合わせ

PHP編集部 TEL:075-681-6356 FAX:075-682-0753

※掲載の可否のお問い合わせ、ご投稿の返却には応じかねます。

詳しくはこちら [PHP作文甲子園](#) 検索